芳香消臭脱臭剤協議会 2025年度

「第57回実務者向け研修会」実施報告書

---

1. 全体の概要

当協議会では、会員企業における実務者の専門知識の向上および技術理解の深化を目的として、定期的に研修事業を行っております。
今般、2026年9月17日日に「第57回実務者向け研修会」を、対面会場およびオンライン配信を併用したハイブリッド形式にて開催いたしました。以下にその概要とアンケート結果をご報告いたします。

1-1. 開催概要

- **日時：**2026年9月17日(木) 13:25〜15:40
- **場所：**CIVI研修センター 新大阪東 6階「E604」（大阪市）
- **形式：**対面会場（実地開催）および Zoomによるオンライン配信の併用
- **参加社数：**35社

【参加人数】

プログラム	参加人数	内訳・備考
第1部：講演① **第2部：講演②**	128名	オンライン配信：109名 ／ 対面会場：19名

1-2. 研修プログラム

プログラム	内容・成果
【第1部：講演】 講師： 日本香料工業会 曽田香料株式会社 鈴木 敦 様 演題： 「香料の安全性評価と規制動向 -IFRA 自主基準と国内外法規制の最新動向-」	芳香消臭脱臭剤のコア技術である香料に関して、RIFMおよびIFRAの役割や、安全性評価の枠組みについて体系的かつ包括的な解説が行われました。また、目まぐるしく変化する国内外の法規制やEUにおける最新動向、さらに業界の自主基準に関するアップデート情報が詳細に共有されました。製品開発においてますます重要となる「香料の安全性担保」という観点から、参加各社の実務や処方設計に直結する非常に有益な知見を得る機会となりました。
【第2部：講演】 講師： 大阪産業技術研究所 道志 智 様 演題： 「IAQ(室内空気質)に関する社会的背景と最新技術」	近年重要視されているIAQ（室内空気質）向上の社会的背景とともに、においの「見える化」に向けた最先端の研究アプローチについて解説が行われました。 吸着等温線を用いた消臭性能予測や、ガスセンサを用いた多点実測手法・CFD（数値流体力学）シミュレーションを活用した室内空間におけるにおい成分の移動および濃度分布の予測など、具体的な技術動向が紹介されました。将来的な、消臭性能予測の実空間への適用に向けた大きな可能性を感じさせる内容となりました。

1-3. 当日の様子


JFMA
IFRA
International FRagrance Association
（国際香粧品香料協会）https://ifrafragrance.org/
1973年設立（事務局：ブリュッセル、本部：ジュネーブ）
欧州、アメリカ、日本の フレグランス製造者協会が加盟
日本からは日本香料工業会として設立時より加盟
現在のIFRA理事会は、正会員7社と、各４地域（北米、中南米、欧州、アジア太平洋）代表からなる。

2. アンケートの集計結果

■ アンケート回答者数：89名

1-1.当該業務経験年数について

1年以下	2～3年	4～5年	6～10年	11年以上
16%	19%	13%	17%	35%

1-2.参加形態について

オンライン	会場
80%	20%

2. 講演「香料の安全性評価と規制動向
　　－IFRA自主基準と国内外法規制の最新動向－」
日本香料工業会 曽田香料株式会社 鈴木 敦様

2-1.講演の内容について

良かった	やや 良かった	どちらとも いえない	あまり 良くなかった	良くなかった
69%	29%	2%	0%	0%

2-2.講演の分かり易さについて

分かり易かった	どちらかといえば 分かり易かった	どちらともいえない	どちらかといえば 分かり難かった	分かり難かった
71%	22%	4%	2%	0%

3. 講演「室内空気質に関する最新動向
　　－消臭性能予測技術、空気質の見える化への挑戦－」
大阪産業技術研究所 道志 智様

3-1.講演の内容について

良かった	やや 良かった	どちらとも いえない	あまり 良くなかった	良くなかった
82%	15%	0%	0%	0%

3-2.講演の分かり易さについて

分かり易かった	どちらかといえば 分かり易かった	どちらともいえない	どちらかといえば 分かり難かった	分かり難かった
64%	25%	11%	0%	0%

4.開催形式について

リアル・オンライン 併用が良い	オンライン開催 のほうが良い	どちらかといえば オンライン開催	どちらとも いえない	どちらかといえば リアル開催	リアル開催 のほうが良い
85%	6%	3%	1%	3%	1%

3. 総括および今後の展望

本研修会は、大阪会場での対面およびオンライン配信のハイブリッド形式にて開催しました。
事後アンケートにおきましては、第1部の「香料の安全性評価と法規制」に関して、「実務に直結するIFRA基準や国内外の最新動向を体系的に学ぶことができ、大変有意義であった」との声が多数寄せられました。また、第2部の「IAQ（室内空気質）に関する最新技術」では、においの「見える化」やCFDシミュレーションといった最先端のアプローチに対し、「今後の製品開発や消臭性能予測のヒントになる」と高い関心が集まりました。
両講演を通じて、会員企業の皆様の事業推進や知見の拡大に深く資する研修会となりました。
会場においては、講師と受講者、あるいは会員企業相互間での活発な意見交換が行われ、有意義な交流の機会となりました。
また、今回より導入いたしました「電子フォーム」によるお申し込みにつきましても、大きな混乱なくスムーズに移行でき、参加手続きの利便性向上に繋がったと評価されております。
当協議会では、今後も市場環境の変化や会員企業の多様なニーズに即したテーマを選定し、業界の健全な発展と技術水準の維持向上に寄与する研修事業を継続して展開してまいります。